

**全国伝統的建造物群保存地区協議会
ブロック会議及び担当者研修会に
参加してきました**

平成二十八年度の全国伝統的建造物群保存地区協議会（関東・甲信越ブロック会議及び担当者研修会）が、十月二十日～二十一日の二日間にわたり静岡県焼津市で開催されました。

この協議会は、ブロック内の伝建を擁する地区で持ち回りで年一回開催されており、文化庁の伝建担当の調査官も来賓として招かれ、伝建を担当する各地区の行政担当者の意見交換の場となっています。今回の協議会では、一日目に基調講演、事例発表、意見交換を行い、二日目に花沢地区の現地視察を行いました。

花沢地区は、平成二十六年に重伝建に選定された比較的新しい伝建地区で、焼津市北東部の山間に位置し、山の谷地に形成された山村集落です。山から集落を見下ろす風景は上条と似たところがある一方、集落を貫く街道に沿って屋敷割りがなされている集落景観は上条と異なっています。

今号では焼津市花沢伝建地区をご紹介します。合わせて東京国立博物館の特別展に出品されている作品の一部をご紹介します。

焼津市花沢 伝統的建造物群保存地区

【花沢地区の基本情報】

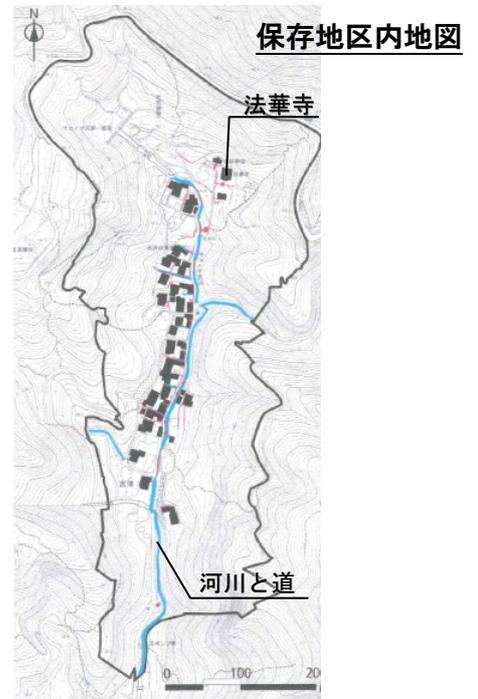
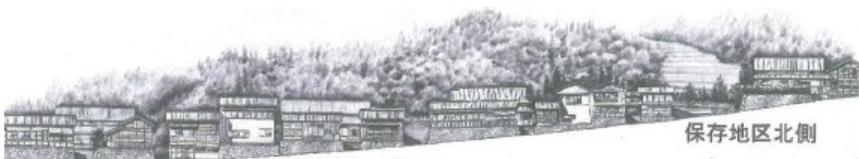
- ・保存地区の面積 約十九・五ヘクタール
- ・伝統的建造物
 - 建築物 六十二件
 - 工作物 四十一件
- ・環境物件 十四件



花沢地区は山の谷地にある三十戸ほどの山村集落です。保存地区は南北に長く、街道（旧東海道）沿いの屋敷地を畑や山林が取り囲み、山の中腹からの遠望は隠れ里のような風景です。建物には江戸時代の主屋や付属屋が残り、明治時代後半以降のお茶・蜜柑・養蚕の盛行とともに建物が増改築されました。

山の谷地に形成された花沢の景観は、街道沿いに石垣と付属屋が階段状に連なる建物群と周囲の山林・畑地、川などの自然環境が調和した、独特の景観を形成しています。

【花沢地区の位置】



写真上) 法華寺

写真下) カフェ

集落の様子

禅 心をかたちに

東京国立博物館では十月十八日から十一月二十七日まで、特別展「禅心をかたちに」が開催されています。臨濟宗・黄檗宗の本山・末寺から名宝を一室に集めた展覧会です。甲州市からは市内三カ寺より達磨図（国宝・向嶽寺所蔵）ほか七点の作品が出品されています。

【甲州市所在寺院からの出品作品】

寺院名	作品名	制作時代	備考
向嶽寺	達磨図 <small>だるまず</small>	鎌倉時代	国宝
	孤峰覚明像 <small>こほうかくみょう</small>	南北朝時代	重文
	抜隊得勝像 <small>はつたいとくしょう</small>	南北朝時代	重文
	塩山和泥合水集板木 <small>えんざんわいごうすいしゅうばんぼく</small>	南北朝時代	重文
	抜隊得勝遺誡板木 <small>はつたいとくしょういさいばんぼく</small>	南北朝時代	重文
栖雲寺	中峰明本像 <small>ちゅうほうめいほんぞう</small>	南北朝時代	重文
松泉寺	抜隊得勝像 <small>はつたいとくしょう</small>	南北朝時代	県指定

●達磨図（国宝・向嶽寺所蔵）

この達磨図は、上部に蘭溪道隆の賛があるため禅宗導入期の禅宗絵画の最初期の遺品と判明する、きわめて重要な作品です。賛の末尾に「建長の蘭溪道隆、朗然居士のために拝賛す」とあり、蘭溪道隆の建長寺住持在任中に朗然居士（北条時宗）のために

賛が書かれたことがわかります。

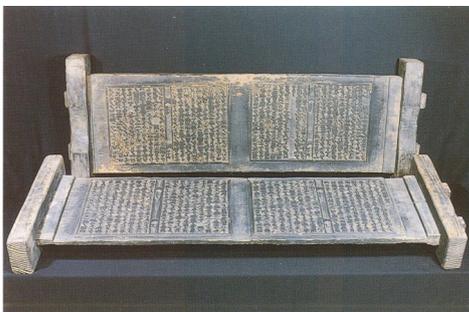
達磨の顔の描写は精細で優れており、身体を包む衣のヒダを表わす衣文線は流麗でありながら立体感に富み、堂々たる体躯は圧倒的な存在感を示しています。一方、彩色は抑制され、達磨は光と空気に包まれ、現実の空間に存在するように感じられます。このような作風は、宗の水墨画的な新様式に拠っており、それまでの日本の仏教絵画の伝統と一線を画す、時代の最先端を行くものであります。

以上の特色をもつ本図は、禅宗導入期の日本における導入の中心地、鎌倉で、将来の最高権力者のために作られたとみられる記念碑的な大作であり、その歴史的な重要性は比類ないものです。



●塩山和泥合水集板木（重文・向嶽寺所蔵）

向嶽寺の開山抜隊得勝の教えを編纂した著作で、民衆に分かりやすく説くための漢字かな交じり文の「仮名法語」で書かれており、禅宗における中世の仮名法語を代表する著作の一つです。中世には各地の禅刹で



板木による書物が多く刊行されましたが、板木が残存している例はほとんどなく、当時の印刷事業の実態を示す貴重な資料です。

お知らせ

※申込み・文化財課まで
☎ 三三二一五〇七六

天目山 栖雲寺 宝物風入れ展

栖雲寺では年に一度、寺宝の展覧会を開催しています。

日時 十一月十二日（土）・十三日（日）
午前九時～午後三時

場所 天目山栖雲寺（大和町木賊二二二）

観覧料 大人五百円 小人三百円

申し込み不要

第六回 歴史的風致散策

特別公開「名勝 向嶽寺庭園」の見学と塩山・コロガキの里を歩くイベントを開催します。

日時 十一月二十日（日）
午前九時～午後四時頃

集合場所 甲州市役所

参加費 千円（拝観料・保険代）

第十回 上を系集落見学会

集落を一望できる山へ登り、紅葉した山々に囲まれた秋の上系集落の風景を楽しみます。

日時 十一月二十七日（日）
午前八時半～午後一時頃

集合場所 福蔵院駐車場

参加費 無料（保険代を当日徴収）